

令和7年度 学校評価を受けて（報告）

1 保護者による評価について

全ての項目において「4：思う」「3：少し思う」の合計が、95%を上回り、今年度の本校の教育活動やその他学校経営の取り組みについて、それぞれの目標を概ね達成できていると考えます。

2 職員による評価について

第2回のアンケート結果では、全ての項目において、第1回の結果と比べて数値の改善が見られました。また、全ての項目で、「4 十分達成」「3 概ね達成」の合計が80%を超え、半数以上の項目で90%を上回り、今年度の重点目標達成に向けた取り組みは、概ね達成されたと考えます。

3 課題

保護者による評価においては、それぞれの項目の「4：思う」「3：少し思う」に回答をいただいた中からも、課題や要望等、貴重な御意見をいただきました。

特に多かったのは、児童生徒数の急激な増加に起因する施設・設備・教育環境に関するものでした。学校単独では対応が難しい課題もありますが、学校全体で課題を共有し、協力体制を構築し、融通し合ったり、協力し合ったりし、一部の課題ではなく、学校全体として課題解決に向けて取り組んでいくことを確認しました。

また、生徒指導上の課題も御指摘いただきました。児童生徒の呼称や人権への配慮など、当たり前のことを当たり前に、現状の指導・支援に問題がないか、全職員が当事者意識をもち、一つ一つ丁寧に取り組んでいくことを確認しました。

職員による評価でも、一番多かったのは、施設・設備・教育環境に関するものでした。次年度に向けて、さらに児童生徒数・学級数の増加が見込まれているため、より一層の協力関係を構築する必要性を確認しました。

ICT関連では、個人情報保護に向けた意識を高め、セキュリティポリシーを遵守することなど、これまでの慣例についても見直しを行い、ゼロベースから見つめ直す時期に来ていることを確認しました。

広報活動の充実やペーパーレス化については、利用が順調に定着してきている「れんらくアプリ」の活用拡大や促進をすることで対応が可能と考えます。

これらの課題に関しましては、関係部署で改善策の検討を行い、学校全体で情報共有を図り、すぐに取り組める内容については、すぐに取り組みを始めるとともに、確実に次年度へと引き継ぎ、今後の教育活動や学校経営などの業務の改善に生かして参ります。

4 最後に

児童生徒一人一人の教育的ニーズを今一度確認し、個々に応じた適切な指導・支援を行い、生きる力や可能性を限りなく伸ばしながら、自立と社会参加に向けて、心豊かに生きる児童生徒を育成して参ります。

また、地域における特別支援教育のセンター的機能を果たすべく、現在の取り組みを継続しながら、地域から信頼される学校を目指して参ります。